

桜エキスーアミノ酸加工剤

パラファイン FCB

(PARAFINE FCB)

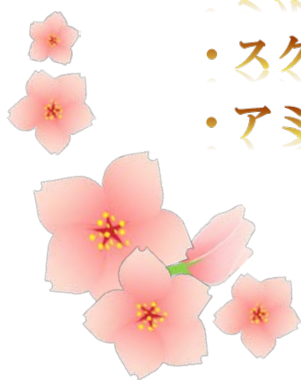
パラファイン FCB は、桜の花エキスと、シルクプロテイン由来のシルクアミノ酸、天然モイスチャー成分であるスクワランオイルの3成分を加え、それらを特殊乳化技術によりナノ粒子化させたシリコンオイル配合の、新しい加工剤です。

桜は古来より日本を象徴する花であり、桜の花エキスは肌の皺と、たるみの原因となるコラーゲンの糖化を抑制し、美しさをサポートする働きがあります。スクワランは皮脂含有成分の一つで、シルクアミノ酸と同様に肌に対する優れた保湿、湿潤性能があります。

パラファイン FCB は、この3つの天然油脂成分を含有したナノ粒子エマルジョン形態を持つため、肌に優しく、繊維に対してシルキータッチで今までにない柔軟性を付与します。

・桜の花エキス

- ・シルクアミノ酸
- ・スクワランオイル
- ・アミノシリコンオイル



<性状>

外観	:	黄褐色透明液	イオン性	:	非イオン性
P H	:	5.0±1.0	溶解性	:	冷水に易溶

パラファイン FCBの主成分



桜の花エキス

日本を象徴する花として世界的に知られる桜の花から抽出したエキスです。その成分には、肌の皺とたるみの原因となるコラーゲンの糖化を抑制する作用があります。

シルクアミノ酸

シルクプロテイン由来のアミノ酸を使用しています。湿潤性・保湿性に優れています。

スクワランオイル (Squalane)

スクワランは不飽和炭化水素(スクワレン)を水素添加して得られる天然の飽和炭化水素です。人間の皮脂の一部に含有しており、皮膚への浸透性・湿潤性・保湿性に優れています。

アミノシリコンオイル

繊維に対して優れた柔軟性を付与することが可能なため、多様なバリエーションがあり、広く使用されています。



<使用方法>

- パディング法また吸尽処理法にて処理して下さい。
パディング法 使用量 30～50g/ℓ
吸尽処理法 使用量 3～5%o.w.f.
- 熱処理は素材や併用加工剤に応じて処理して下さい。

<特徴>

- 各種繊維素材にてシルキータッチでソフトな風合に仕上がります。
特に綿の高密度(240～280本)の織物において顕著な風合に仕上がります。
- 希釈安定性及び各種加工剤の相溶安定性に優れています。

注意

- 加工処方・処理される繊維により、風合および染色堅牢度の低下性が若干異なりますので、実際の使用に際し予備試験の上使用してください。
- 通常の保存で安定ですが、冷暗所に保存してください。
- 濃色生地の場合に、スクワランオイル及び桜エキスによる濃色化が起こることがあります。

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行った社内試験に基づくものですが、御使用に際しましては十分に御試験の上、御使用下さい。
取扱いに関しましてはMSDSを御参照下さい。